



カラー特集 第13回ジャバントップ12大会…… [2]

記事広告 「卓球ショップユーライ、大宮卓球」…… [4]

インタビュー 石川佳純(ミキハウスJSC)…… [6]

テクニック 石川佳純(ミキハウスJSC)…… [10]

大会報道 第13回ジャバントップ12大会…… [14]

この人のこの言葉 藤井基男(卓球愛好家)…… [16]

練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)…… [18]

気ままにタイムアウト 佐藤正喜(日産自動車監督)…… [20]

新連載 中学生の指導 多田進(親愛ムーサスクール代表)…… [21]

アスリート養成講座 永井義(アスリートトレーナー)…… [22]

イベント クックママ交流大会…… [23]

日本の肖像 伊東修二郎(住友軽金属工業株式会社常務)…… [24]

アスリートファイル 田嶋邦史(協和発酵)…… [26]

レッスン 張一博「強くなる技術」…… [29]

マンガ 花丸たつきゆう 高橋達央…… [34]

アスリート日記 中島未早希(横浜隼人高)…… [44]

大会報道 大阪国際招待大会、大阪マスターズ…… [45]

ショップ紹介埼玉卓球会館…… [53]

ピンポン東西南北…… [33]

第5チャンネル…… [36]

各地レポート…… [38]

ラージボール大会…… [47]

カレンダー…… [49]

ショッピリスト…… [50]

みんなのコーナー…… [52]

編集室…… [52]

ニッタク講習会…… [54]

Message

広州世界で日本男女は銅メダルを獲得した。

男子は、2000年のクアラルンプール大会以来8年ぶり、女子は4大会連続となった。

かつて、関東を制する者は日本を制し、日本を制する者の世界を制す、という言葉があった。

ところが、いつの頃からか、日本チャンピオンになってしまっても世界では戦えない、日本と世界では戦い方がまったく違う、という時代になってしまった。

だが、今回は水谷隼、平野早矢香とともに世界で通用するすばらしいプレー

を見せた。

今回の両選手のプレーが一過性のものではなく、日本チャンピオンのプレーが世界基準となれば、後につづく若手選手の指標になる。

世界大会開催中の通勤電車の中で卓球の話題がたびたび聞こえてきた。聞き耳を立てながら嬉しく思った。

テレビ東京の番組作りも一般視聴者向けによく考えられた構成で、盛り上げに一役も二役も買っていたことは言うまでもない。

この勢いで来年の横浜世界大会に向けて頑張って欲しい。

(片野)



表紙

田勢邦史(協和発酵)

田勢美貴江(十六銀行)

平成19年度全日本

混合ダブルス優勝